

感度の高い
女子に聞いた!

こなれ感、透明感に続くのはコレ!

今どきの理想の女性像は「蒼明感」がキーワード!

小学館女性インサイト研究所は、ファッション・美容・ライフスタイルに強い関心をもつ「美的」「AneCan」「Oggi」「Domani」の読者に「理想の女性像」に関する調査を行いました。その結果、感度の高い女性が求める理想像のキーワードが「蒼明感」であることがわかりました。その結果をレポートします。

■座談会:「美的」「AneCan」「Oggi」「Domani」4誌の感度の高い読者10名 ■アンケート調査対象:「美的」「AneCan」「Oggi」「Domani」読者100名
調査期間:2016年8月11日~8月17日 調査方法:インターネットによるアンケート

「理想の女性像」を色に例えると、「白」が最も近かった!

ポジティブで清潔なイメージの白が人気

100名の読者に「なりたいイメージ」を色に例えてもらったところ、2位のピンク、3位の青を押さえて白が圧倒的人気であることがわかりました。「上品で明るいイメージ」(30歳・会社員)「ナチュラルで自然体の女性が理想なので」(26歳・自営業)「美白、白シャツなど清潔な印象」(34歳・会社員)「きれいなだけでなく、凛として強い、自立した女性のイメージ」(25歳・会社員)など、清潔感や上品さに加え、知的さなど、総じてプラスのイメージを持っていることがわかりました。

Q1 なりたいイメージを色にたとえると何色ですか?

白	26
ピンク	13
青	11
赤	9
シルバー	9
緑	9
ゴールド	7
ベージュ	5
グレー	4
オレンジ	3
茶	2
黒	2

Q2 「白」といえばどんなイメージがありますか?
(複数回答可)

清潔	80
透明感	78
ナチュラル	74
上品	71
輝く	66
明るい	54
シンプル	31
凛とした	25
強い	18

Q3 下記の中で、どの白が理想のイメージに近いですか?



読者との座談会では、ファッションや美容における「白」の魅力についても話題に。「シンプルで自分の個性が出しやすい」というところも支持されていました。

白とひとことで言っても、白の種類によってイメージが異なることが判明!

「白」の印象についてさらに分析するべく、読者に座談会を行いました。そこで「白」のトーン別に見てもらったところ、アイボリーに代表される黄みがかった白には「こなれ感」「くすみ」、赤みがかった白には「優しさ」「幼さ」、「真っ白」には「純潔」「潔癖」といった印象を持っていることがわかりました。また、青みがかった白には「聡明さ」「大人っぽさ」をより多く感じており、グレーのような黒みがかった白には「硬さ」「冷たさ」を感じていることがわかりました。理想のイメージに近い色としては、「青みがかった白」がもっとも支持される結果となりました。

今、憧れの対象となっているのは、

「ただの白」ではなく「蒼(青)みがかった白」でした!

なぜ今、蒼い白が注目されているのか?
... Expert analysis! ...
専門家が分析!



カラーコーディネーター

櫻井輝子さん

東京カラース株式会社代表取締役。企業研修やカラーコンサルティング、大学での色彩学講師などを中心に活動。近著に『日本の色一売れる色には法則があった』（朝日新聞出版）がある。

印象を左右する「白」のなかでも
青みがかった白が人に好印象を与える理由

白色は、清潔感、透明感、潔さ、かっこよさを表していると言われていています。色彩心理の観点からいうと、理想を高く掲げる女性、感度の高い女性が好む色とも言えますね。

その中でも青みがかった白が好まれている理由としては、(1) 青が入ることで、心理的により白く見える作用がある、(2) 一歩先のワクワク感を感じさせる、志を高くもつ人が選ぶ色である(3) 透明感と神秘性をもつ色である、ということが考えられます。これらの要素が、今回挙げられた理想の女性像にぴったりとフィットしたのでしょう。

顔だけ見ても、白い肌、白い歯、透き通った瞳...というように、印象的なパーツには「白」が映えますよね。現代女性が理想の女性像を「青みがかった白」と色に例えた事は、心理と行動に密接な結びつきがあることのあらわれだと思えます。

**蒼い白、つまり「蒼明感」こそが、
女性たちが求める次なる理想像です!**

今回の調査では白のなかでも「蒼みがかった白」が支持されていることが判明しましたが、これはファッションや美容のトレンドとも近いものがあります。色としての「白」が流行っているというよりも、白シャツや白Tシャツのようなシンプルで清潔感のあるものが流行していたり、美白や白目・歯の白さがより重視されていたりすることから見ても、納得のいく結果だったのではないのでしょうか。

座談会では、「知的」「シンプル」「清潔感」「上品」といった印象を大切にされているというお話が特に印象的でした。SNSひとつにしても、Instagramでただ見せたいものを見せるのではなく「美しく見える統一感」「有益な情報」を載せることを意識しているのが、現代の女性の傾向です。個性よりも「バランス感覚」に優れていることを求めているのだと思えました。

蒼みがかった白を好む傾向、女性の大切にしている「透明感」と「聡明感」...これを総称した「蒼明感」というキーワードこそ、現代女性の理想にもっとも近いのではないかと思います。



女性メディア局CP

兵庫真帆子さん

入社以来小学館女性誌の美容を担当。

『CanCam』『美的』の編集長を経て、2016年に女性メディア局のチーフプロデューサーに就任。

蒼明感とは...

- 透き通った瞳のような青みがかった白
- 知的、シンプル、清潔感があつて上品
- 現代女性の持つ理想のイメージ

Check the Somekan

■ このリリースに関するお問い合わせや取材、資料をご希望の方は下記までご連絡ください ■

小学館女性インサイト研究所 担当: 高田、五十嵐

<http://www.insightlab.jp/>

TEL 03-3230-9774 FAX 03-3234-6557 E-mail pr-islab@shogakukan.co.jp